

シルバー やまがた

第148号 令和4年10月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター
正会員数1,228名 賛助会員 33個人・65団体(8月末現在)



秋の庭園（洗心庵）（広報部撮影）

— 内容紹介 —

- | | | | |
|----|--------------------------------|------|-----------------------|
| P2 | 長瀬理事長 全シ協会長表彰を受賞 事業普及啓発促進月間 | P6~7 | 会員のひろば |
| P3 | 令和4年度 安全就業標語入選発表 安全パトロールを実施 | P8 | 就業会員を訪ねて |
| P4 | 事業部会だより 女性部会だより | P9 | 人あり・技あり・心あり 新入会員紹介 |
| P5 | わが街通信 | P10 | 事務局だより |

長瀬理事長 全シ協会長表彰を受賞

六月二十三日、全国シルバー人材センター事業協会（東京）の令和四年度総会にて、長瀬理事長が全シ協会長表彰を受賞しました。この賞は、シルバー人材センターの理事長として十年以上就任し、会員及び事業実績の拡大に貢献した方に贈られる賞です。広報部よりお話を伺いました。

大きな出来事は、就任翌年、平成二十四年四月「公益社団法人」に移行したことです。公益認定により、市民からセンター及び会員に対する信頼を高めることに繋がったと考えております。

もう一つは、山形県シルバー人材センター連合会会長の時、山形県警と「高齢者を事件事故から守る活動に関する協定」を結んだことです。山



形県内二十八のSC・会員約一万人のネットワークが、山形県警から注目され「訪問先での高齢者への交通事故防止・特殊詐欺などへの注意喚起」などの声掛けを期待され実現した協定でした。

会員拡大について「一・一（イチ・イチ）運動」を推進しています。全国的に会員数が伸び悩む中、お陰様で当センターの会員数は順調に増えております。

長瀬理事長、受賞おめでとうございます。今後もお元気でご活躍を願っております
(取材・広報部)

十月は事業普及啓発促進月間です

「コロナ禍社会、新たな活動の推進」

令和四年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での集会等活動は制限されることから、新聞等の広告・山形市報への有料広告・デジタルサイネージ(電子広告)等の様々なメディアを活用し、積極的に広報活動を実施します。

実施内容

- 一 ポスター、リーフレット等を活用した役職員、会員による普及活動及び加入の働きかけの実施
 - ↓山形市の公民館やコミュニティセンター等に依頼、リーフレットを配置して入会の勧誘や、仕事の依頼を周知
- 二 会員と市民が交流するシルバーフェア等開催
 - ↓会員互助会文化祭における活動風景のパネル展示に取り組み
- 三 役職員、会員によるボランティア活動等の社会奉仕活動の実施

↓女性部会が、市の菅笠確保対策連絡会に参加し、花笠製作に携わる

四 様々なメディアを活用した広報活動の実施

① デジタルサイネージを活用し、新たにイオンモール山形南店においてセンターの広告放映を行う

② 「広報やまがた」裏面の広告欄に、公式キャラクターの「チエブクロー」を配置した広告を掲載



電子広告 (イメージ図) イオン山形南店

令和4年度 安全就業標語入選作発表

安全就業標語入選作

最優秀 慣れた頃 潜む油断が 事故招く
優 秀 見たつもり やったつもりが 事故のもと
 過信する 気の緩みから 起きる事故
佳 作 声掛けで 絶対なくそう 気のゆるみ
 事故「0^{まもり}ゼロ」へ 意識徹底 安全就業
 ルールを守り 事故防止
 気のゆるみ 近づく危険は まったなし
 急ぐほど 気付かず増える 危険の芽
 忙しい時こそ 急がば回れの 合言葉

(出羽・明治地区) 樋口 俊樹
 (東沢地区) 板垣源太郎
 (出羽・明治地区) 長谷川浩二
 (第2地区) 大沼美智子
 (第2地区) 小林 敏子
 (第4地区) 志田 正
 (第5地区) 阿部 宜久
 (西地区) 吉永 二郎
 (出羽・明治地区) 石山 長悦

安全就業推進委員会 委員長 成田 厳
 例年七月に展開される「全国安全・適正就業強化月間」に合わせ、今年度も皆さんの安全意識高揚を目的に安全標語の募集を行いました。

今年度は六十五名の方から、合計百七十四編の応募をいただき、誠にありがとうございました。

厳正なる審査の結果、上記九名の標語を入選作品として選考いたしました。新型コロナウイルス感染症は第七波として全国的に厳しい状況で、今年度も安全講習会の開催を断念せざるを得ませんでした。受賞者の皆様へ表彰状を贈呈いたしました。なお、上記入選作品に次



安全標語受賞者の皆さん



安全パトロール

安全パトロールを実施しました
 「全国安全・適正就業強化月間」の活動として七月に安全パトロールを実施いたしました。

夏季は、熱中症の危険が高まることもあり、屋外作業の除草や草刈り、剪定作業を中心に九カ所をパトロールしました。パトロールの結果、重大な危険項目はなく、リーダーを中心に熱中症予防や害虫対策に気をつかい、安全を確保して就業しておりました。改善すべき点として、緊急連絡カードを車に置いてある等、正しく携帯していない会員がおり、就業中は身に付けて携帯するよう指導いたしました。事故防止のパンフレットを配布して注意喚起を行いました。

事業部会だより

事業部会長 高野 昭英

早いもので令和四年度も半年を過ぎましたが、今年度の事業部会の活動を紹介します。事業運営に対しまして会員の皆様のご協力とご理解ありがとうございます。

○リサイクル自転車の即売会

三月～十月までの毎月第二土曜日、午前八時頃からシルバー作業所に於いてシルバー会員がリサイクルした自転車を展示して即売会を実施しています。毎月台数に限りがありますが、安価で品質も良いと喜ばれています。

○未就業会員対象の除草作業 (令和四年六月以前入会会員対象)

一回目が五月二十六・二十七日、二回目が七月二十八・二十九日に双月橋上流の盃山ゲートボール場の除草作業を延約一五〇名の参加で実施しました。暑い中での作業お疲れ様でした。三回目は十月に予定しています。



事業所訪問 (北山形駅西口)

○事業所(就業先)訪問活動

八月二十四日に三カ所の事業所を訪問し、就業会員との意見交換を行い、問題点や要望など有意義な意見交換を実施しました。十月にも三カ所の事業所訪問を予定しています。

○就業相談の実施

毎月第二水曜日に未就業会員減少への取り組みとして、シルバー会議室にて就業相談を実施しています。就業の意向を確認し合い継続して就業対策を講じています。

女性部会だより

女性部会長 塩野 美智子

花笠まつり六十周年を迎えて

花笠まつりは三年ぶりに大勢の踊り手で賑やかに開催されました。前夜祭の奉納式は七日町ほつとなる広場で行われ、森谷ヨシエさんと二人で参加しました。花笠は市長や県観光協会会長から蔵王権現さんへ奉納されました。

コロナ禍の為十二名での開催でした。野草園では散策しながら自然とふれあい心身ともにリフレッシュできました。西消防署では、地震体験や消火器とAEDの体験も行い、普段からの備えの大切さを実感しました。

今年六十周年記念にあたり、市農政課より市役所に新しい花笠を飾りたいと依頼を受け、七月より会員有志の方にご協力をいただき製作を始めました。コロナや暑さにも負けず、何度も失敗を繰り返しながら頑張りました。尚美堂さんからもご支援を受け、お陰様で市役所入口に「編み手シルバー人材センター女性部」と立派な看板と一緒に飾っていただきました。平成二十八年から続けてきた花笠作りは、沢山の方よりご尽力を頂き大きな成果を残すことができ感謝いたします。

八月二十六日の施設見学会は、



第五地区

山川 良男

江戸時代からの商人町・村落と新興地区の町、二十九の町内会・自治会によって第五地区は構成されている。

千歳山の麓を通る街道と小白川を通る街道に挟まれた地域は、かつて、田んぼや畑であつた。市街地が東の方向へ開発され行く中で、山や南高が出来てから、文教地区・住宅地区として発展してきた地域と言える。町や村落には、神社・仏閣があるが、新興地区にはそれがほとんど無い。昔からの商人町・村落と新しい町の合体地区であることが分かる。

地区内にある「諏訪神社」は農業の神様として祀られ、祭日には「茄子」が供えられると言う。境内には福寿稲荷神社と普賢神社も祀られている。また、「もみじ公園」

には、明治時代の廃仏毀釈政策で廃寺となつた宝幢寺の庭園や、書院であつた「清風荘」、全国でも珍しい公設の茶室「宝紅庵」がある。寺の本堂は国分寺薬師堂に移設されている。

庭園は池泉回遊式で、春の若葉、夏の深緑、秋の紅葉、冬の雪景色と、四季を通じて楽しめますので、是非一度、訪れて見てください。

もみじ公園



もみじ公園

地域紹介 わが街通信

西部地区

太刀川 弘

私の住む柏倉門伝村は、昭和三十一年山形市に合併。合併当時の人口は約四三〇〇人。県立柏倉門伝高等学校もあつたんですよ。今は昔。

さて、わが村のシンボルは、山形市長も推奨する「富神山」です。標高四〇二メートル。登山口は南、北、西と三方から登れます。初心者や我々シルバーは西口からが良いでしょう。所要時間は約四〇分。頂上付近がやや急ですが、全体的にはなだらかな登山道です。春はヒメサユリも散見され、登山者を癒してくれます。

いよいよ山頂です。皆さんビックリ。南は上市市内、北は天童、東根市内まで見渡せます。昔、長谷堂合戦の際、上杉軍

が山頂より最上城を偵察した折、霧で霞み見えなかつたことから「霞ヶ城」と名付けられたとも言います。

四季を通じ楽しめますが、特に秋の黄金色に輝く稲穂の景観は必見です。山頂には長椅子とテーブルが用意され、皆さん楽しくお食事をされています。シルバーの皆さん、是非一度いかがですか。晴れた日を選んでね。



富神山 (ふれあい展望台)

趣味から得られる 絆と高揚感



出羽・明治地区
小山 勝美

私の趣味の一つにヒラメ釣りが
あります。

遊漁船に乗り、生きたイワシ
を針に掛けてヒラメを狙う釣り
です。

年に数回、釣り仲間と一緒に、
宮城県沖の太平洋に行っていま
す。

釣りに入ると、船が移動する
とき以外ほとんど立ちっぱなし

になるので、体力も必要な釣り
でもあります。

ヒラメ釣りの醍醐味は、小さ
な当たりが来てから、餌に食い
つくまでの竿先から伝わる緊張
感とワクワク感、ヒットさせて
から、リールで糸を巻き上げる
際味わう強い引きです。

釣果ゼロの時もあり、そのと
きは多く釣り上げた仲間が分け
てくれるので、絆を強く感じて
います。

年をとるにつれて、ワクワク
感を味わうことが少なくなっ
ています。

しかし、釣りの前日は、明日
の釣果を期待して、ワクワクし
ながら釣り具や飲み物などの準
備をします。

当日は当たりが来た時のワク
ワク感を味わって楽しんでいま
す。

趣味や生きがいを持つことは、
健康寿命を延ばす効果があると
いう研究結果があるようですが、

分かるような気がします。

皆さん「地域猫」って 知っていますか？



第三地区
石山 一美

第三地区宮町十区・私の町内
で、のら猫ちゃんを、動物愛護
センターの方とみしま町内会の
相橋様の協力で、一匹ずつ捕獲
して、避妊手術と、右耳の上部
を少しカットして元の場所に戻
し、町内の猫として保護し、見
守り、育てていきます。それが
「地域猫」です。

三月までは十匹完了し、八月
に三匹を地域猫にする予定です。
我が家には二匹いますが、今回
一匹引き取り、三匹になりました。
近所の方で、六匹も引き取
り育てている方もいますよ。

今は、テレビも猫ちゃんの番
組が多いですね。我が家のミイ、

ミケ、フクちゃんは、名前を呼
ぶと、ちゃんとニヤーンと返事
をして、目がパッチリ大きくて、
かわいいです。コロナ禍で旅行
も行けず、中学のクラス会もな
く、残念ですが、毎日猫ちゃん
から癒されて、楽しくて、元氣
をもらっています。本当にあり
がとうね!!

昔の伝言に、猫がいなくなる
とねずみ、もぐらが増えること
あります。皆さん、猫ちゃんとの
出会いの機会がありましたら、
ぜひ育ててくださいね。よろし
くお願いします。



多員の

健康・趣味

家のペット



千歳地区
樋口 辰弥

私の家族は、私・妻・猫の三人?です。十年程前、娘が迷い子猫を拾ってきたのでした。

娘から懇願され、しぶしぶ飼うことになったのです。名前はビビにしました。亡き母は、猫嫌いでした。いつもリビングの椅子に座っ



ビビ

て、テレビを見て過ごしていたのです。ビビは、お腹を空かすと、亡き母に背伸びしながら、タッチしてエサをねだるのでした。子猫ゆえ、その仕草にみな、メロメロに。亡き母も、ビビに、ぞっこんになったのです。そんなビビも成猫になり、家族やお客様にもスリスリして、人間大好きな猫に。あと、何年生きるのかなあ? 夫より、長く生きる? 競争しよう。

私がモンテディオ山形を応援する理由



滝山一地区
枝松清二郎

ひざはガクガク、心臓はバクバク体が震える。二〇一四年、会場は味の素スタジアム、J1昇格プレーオフ決定戦での出来事は今でも鮮明に覚えているコマです。

モンテの観戦をシーズン通じて行くようになって十二年が経ちます。シュートが決まればタオマフを回す、勝利すれば祝杯をあげる。更には次の日の山形をチェック、夕方のTVは全チャンネルを見て、家族から煙たがられています。公式HPや掲示板、ブログの閲覧も欠かせません。次の試合まで楽しみが続きます。

私がモンテを応援する理由は、元気と感動を貰えるからでしょ



スタジアムの除雪作業

う。運動公園第三運動場に居た時、歓声が聞こえ、それと同時に応援の声が大きくなりました、それが、相手チームからゴールを決められたと知り、なんて素晴らしいサポーターと思いました。今年もそういった方とともに、スタジアムの除雪作業ができ、有難いと思っています。

**加藤 裕・藤田 和男
渡辺 和夫・樋口 実**
鈴川公園（双月の丘）
公園内清掃管理業務

山形市東部山麓に位置する鈴川公園は、馬見ヶ崎・双月・沼の辺の三地区を有する広域自然公園です。

山形市から

の委託を受けて、その管理（双月の丘）をシルバー会員四名の方が担当されておられます。就業内容は清掃・草刈り・除草・樹木剪定・施設点検等、就業期間は四月から十一月まで、就業時間は午前九時から午後五時まで、就業体制は二名一組での交代勤務制です。

今回は、リーダーの加藤さんと藤田さんに、双月の丘でお話を伺いました。

広大な敷地の管理は極めて大変な作業ですが、四季の移り変わりを感じながらその自然の中で仕事が出来るとは、すごく楽しくとても感謝していると笑顔で語られます。



藤田和男さん・加藤裕さん

この公園は境界が一般住宅と隣接しているため、特に安全就業には気をつけると共に、近隣住民とのコミュニケーションを密にしながら、良好な関係を築いた上で信頼と信用を得ていくことがとても大切だと考え、実践されておられるとのこと。その姿勢は、正に就業会員のお手本となるのではないかと思います。あらゆる天候の中での屋外作業ですので、体調には十分に配慮された上で益々の活躍を願っております。

会員の皆さん、清涼なる地へ一度足を運ばれてみてはいかがですか。

（取材・広報部）

就業会員を訪ねて

黒沼 勇一
生活協同組合共立社
箱詰め業務

コロナ感染者の内、在宅療養者で支援物資が必要な希望者に対し、宅配するため食料品の箱詰め作業を行っている生活協同組合共立社（山形市流通センター）を訪ねました。

業務は派遣事業での就労。就業日は月・水・金曜日、午前七時半から午前十一時三十分までと午前八時から正午。会員数は男女合計十二名での就労です。

当日分の箱詰めする食料品（飲料水・パックご飯・乾麺・レトルト食品・缶詰等二十品目）を準備し、ショッピングカートに箱を乗せ、重い物を箱の下段に軽い物を上段に順序良く品目をピッキング、箱詰めします。最後に商品の確認作業をして封印のテープを貼る。一箱の重量は約十kg位になります。一日の作業量は当初は四百個程でしたが、最近、感染者の増加に伴い連日六百個になります。



作業風景

リーダーの黒沼勇一さんは初めのうちは仕事に不慣れと立ち仕事で辛かった。箱の大きさが変わったたりして作業の遅れが生じたり、商品の到着遅延により時間外も発生しました。しかし、翌日は休日でも休養ができ、今はすっかり慣れ体調も良く作業も順調に進んでいます。作業量が多いときは社員の応援があり感謝しています。暑い中、各自適時に熱中症に注意し、水分補給をしながら頑張っています。

取材当日も第七波が猛威をふるっており、連日感染者は過去最大数になりました。早期の収束を願い、感染拡大を乗り越えたいものです。

（取材・広報部）

事務局だより

（協）山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号
電話（〇三三）六四七―六四七

行事イベント案内

創作品展示頒布会・バザーの開催について

日時・十月十四日（金）

十六日（日）

場所・山形テルサー一階

（互助会文化祭会場にて）

三年ぶりの開催です!!

感染対策を徹底した上で開催予定です。

創作品の売り上げは配分金としてお支払いし、バザーの売り上げは山形学園へ寄付します。

男性・女性会員とも積極的な参加をお待ちしております。

安全講習会

ブロック研修会の中止

新型コロナウイルス感染状況を鑑み、今年度の開催を中止します。

URL: <http://web.sjc.ne.jp/yamagata>
E-mail: yamagatashi@sjc.ne.jp

お知らせとお願い



配分金支払日

十月二十日（木）

十一月十八日（金）

十二月二十日（火）

入会説明会（午後一時三十分）

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

十月十一日（火）十七日（月）

二十四日（月）

十一月一日（火）八日（火）

十七日（木）

十二月八日（木）十六日（金）

二十日（火）

就業相談日（午後一時三十分）

（就業に関しての相談です）

十月十二日（水）

十一月九日（水）

十二月十四日（水）

※就業相談の受付は午後一時十五分からです。
予約等はできませんので
「先」承ってください。

地域の総合健診は必ず受けよう!

健康でなければ良い仕事はできません。各地区の総合健診を受診して、健康管理に努めましょう。

センター緊急連絡先

〇九〇―六二五―五三〇二

土日・祝日に事故等が発生した場合の緊急連絡先です。

また、会員証と一緒にお渡しする緊急連絡カードは、就業の際必ず携帯するようお願いいたします。

計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

東沢地区

佐藤

勉さん（七十四歳）

あとがき

今年の梅雨は、記録的に短い期間で明けてしまいました。その後、三年目を迎えたコロナ禍は第七波に入り、感染者は急激な増加となっています。県内で千人を超える感染者数になるなど、二年前には想像もしていませんでした。手強いコロナウイルスへの感染防止対策はまだ必要なのです。とりあえずは、ワクチン接種で自分と周りの人たちを守りましょう。

さて、全国高校野球選手権大会では東北に悲願の優勝旗がやってきました。高校生たちの、元気に前向きにひたすらに野球に向き合う姿に、いつもより一段と大きな感動をもたらした夏となりました。

残暑厳しくなりそうな予報が出ています。皆様どうぞご自愛のうえお過ごしください。

（I・Y）